

正しく動き、美しくつながり、強く創り出す「未来を生き抜く力」を育成する学校



「たい」のあられる時津小



↑こちらからも↑

令和6年 5月22日(水) 発行人：校長 森内 秀学

応援の気持ちは、必死さが生み出す～運動会閉幕～



素晴らしい好天の下、運動会が無事閉幕しました。応援に駆けつけてくださった皆様、本当にありがとうございました。

今年の運動会のテーマは、「みんなで応援し合い、きずなを深める運動会」でした。だからでしょうか、子どもたちは、一生懸命互いを応援し合っていました。きずなも深まったに違いありません。

でも、この「応援したくなる気持ち」は、どこから生まれるのでしょうか。

私は、人が本気で取り組むときに見せる「必死さ」から生まれるのではないかと考えました。子どもたちはきっと、友達が必死で取り組む姿に自分を重ね、きつい練習を乗り越えるときの辛さや、負けるもんかと歯を食いしばる悔しさを、一緒に味わっているのだと思います。だとしたら、応援は、自分への励ましであり、他人事を自分事としてとらえる優しさなのでしょう。



運動会が終わり、学校に日常が戻ってきました。大きな優しさを宿した子どもたちとともに、次のステージへと歩みを進めます。



これも優しさの一つ

トイレの使い方を再考させるべく2年生の掲示板に写真が貼られました。次の人が気持ちよく…これも優しさの一つですね。



体力テスト実施中

毎年恒例、運動会の次の日は体力テストです。写真は反復横跳びの様子。運動会の練習で、体力はかなり上がっているはず。よい結果が出ることを祈っています。